

会議録

会議の名称	令和3年度第2回新城市市民自治会議
開催日時	令和3年5月19日（水）午後6時30分から
開催場所	新城市役所本庁舎4階会議室（オンライン会議を併用）
会議の次第	1 あいさつ 2 議題 3 その他
出席委員	鈴木誠会長 前澤このみ副会長 今泉仁委員 鈴木雅晴委員 太田幸江委員 清水良文委員 熊谷則之委員 齊藤美代子委員 加藤稜唯委員 鳥居愛委員 山本青空委員
欠席委員	浅井架那子委員

1 あいさつ

委員長及び事務局から開始の際に簡単なあいさつが行われた。

2 議題

新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会委員の選定の結果について

委員長	5月6日(木)18時から行った新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会公募委員審査委員会の結果について、審議を行います。
事務局	簡単な説明
委員長	分からないことや結果の内容について確認と検証をしていただきたいと思います。
委員	今回は、経験者枠7名・一般枠は2名ですか。
事務局	そうです。
委員	比率としてはちょうど収まりの良い数字かと思います。
委員	一般枠の2名の方は、何の事実をもとに審査をしたのですか。
委員長	審査員が最も重視したものは、申込書です。まずは、各委員で素点を付け、その後、審査委員会の中で応募理由の意図・意味を確認し、また、評価基準についても確認をし、再度点数を付けるように進めました。
委員	申込書が審査の対象ということでしたので、申込者の実際の活動の様子を見て判断をしたというわけではないのですね。文字数はどのくらいでしたか。
事務局	1,000字以内としております。また、点数が付けられるよう書く内容についても、4つ示しています。
委員	審査のしやすさなどについて、審査された方の感想をお聞きしたいです。
委員	熱意が伝わる方や、あっさりとしている方もあり、文字数にもばらつきがあったため、苦劳しました。文面からしか判断できませんでした。個人的には、ある程度人柄を知ることができる場があると良いかなと思いました。
委員	文面からでしたので、わからないところはありました。ただ、文面から意欲は感じられました。色々な審査をしてきましたが、プレゼンみたいなものがあるとすごく伝わりやすいです。性格や背景がわかりにくかったですが、審査会の委員が対象の方の人物像を知っ

	<p>ている場合がありますので、そういった情報から見ることはできたかなと思います。点数をつけるのは難しかったと思います。</p>
委員	<p>率直な意見として文面だけでの審査は無理だなという感じはしました。1,000字近く書く方も500字くらいの方もいて、熱意や論理性の判断に使いました。会議の中で人となりの話は出ましたが、それをすると審査委員5人が全員知らなかった場合に、そこに対して判断ができず、文書だけでの判断となって不公平になるため、人となりを加味する場合には全員に面談をし、加味しない場合には文書のみでというようにしないと、公平性が担保されないなど強く感じました</p>
委員	<p>書面のみで判断するのは大変難しいと思いますが、逆に知り合いばかりが応募してくるということはないので、そこに書かれていることから推測して判断するのは仕方のないことかなと思いました。経験者の記載については、例えば市民まちづくり集会実行委員会であれば、その年のテーマが何かなど知りたいと思いました。工夫された申込書でしたが、次の実施の際にはもう少し内容・書き方を工夫する必要があるかと思います。初めてのことで、今回はこういった反省がこれから多く出てくるだろうと思います。</p>
委員長	<p>4名の方が葛藤しながら審査を行ったことがお分かりいただけだと思います。審査の後、申込書の様式、評価基準等について、議論をしました。前回の討論会は、各陣営からの方を中心に構成されたものでしたが、そういった方が公募された場合にも公平に実行委員として実施していただかなければなりません。その方の応援される方が立候補予定者となった場合には、各陣営からの推薦者として参加ができるにもかかわらず公募で参加したこととなって、結果としては誤解を招く可能性があるので、公平にできるよう誓約をしてもらう必要があるという話も出ました。陣営からではないという位置付けをはっきりとしてもらう必要があるということを確認しました。審査委員会で出た意見を事務局がまとめていますので、後日検討していただきたいと思います。</p>
委員	<p>審査には1名当たりどのくらいの時間が掛かりましたか。</p>
委員	<p>数日かけて読み直しましたので分かりません。</p>
委員	<p>私も何度も読み直しをしましたので、時間としては分かりません。</p>
委員	<p>読んでいくうちに、この方の点数がこれなら前の方の点数は変え</p>

	<p>た方が良いのではないかと色々考えることが出ますので、1周するのに1時間少し掛かり、それを数回といった感じでした。</p>
委員	<p>私も似たようなもので、読んで修正してを3日くらいしました。</p>
委員長	<p>私も3日くらい掛かりました。経験者の方で議事録がある方は、そのときの活動、発言等を確認しました。市のホームページから分かるものもありますし、それらを資料としてまとめたりもしました。その後審査委員会で検討を行っていますので、多くの時間が掛かりました。</p>
委員	<p>委員長は過去の議事録等をもとに審査されたということですが、他の方にはそういった資料を配付したり、説明会を行ったりということはありませんか。</p>
委員長	<p>私は、市外の者でそういった情報はないため、資料を利用したということです。他の委員の方は、それぞれの経験がありましたので、その経験を大事にしていきたいということで今回お願いしました。その後、情報の共有をして進めたということです。</p>
委員	<p>委員長の方法は、なかなか思いつきませんので、今回の審査を記録してもらい次回への参考にしてください。</p>
委員長	<p>資料を準備する場合には事務局が行うことになりますが、その活用は各委員に委ねられるものだと思います。また、資料以上に経験が大切だと私は思いますので、うまくバランスをとって審査をする必要があるかと思います。</p>
委員長	<p>審査の過程についてご了解いただけたかと思います。次は、結果についてですが、結果は点数の上位者から並べています。いかがでしょうか。</p> <p>皆さん審査の結果を承認いただけるということでよろしいでしょうか。</p> <p>では全会一致で承認をされました。ありがとうございました。</p> <p>では事務局側で今後のスケジュールを説明してください。</p>
事務局	<p>5月27日（木）に実行委員会を開きたいと思っています。その後6月上旬に2回目を開催して開催予定日等について検討し、それを6月中旬の市民自治会議に諮り、6月末に答申と考えています。</p>
委員長	<p>実行委員会が始まってからも、市民自治会議とはキャッチボールをしながら進めていくことになりますので、御協力いただきたいと思っています。</p>

	では検討としては以上です。
--	---------------

3 その他

次回の日程は、新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会の進行次第であるため、6月第3週の開催を目安として調整し、書面でお知らせすることとなった。

閉会